

議会報告会実施報告書

| | | |
|--------------|--|-------------------|
| 開催日時 | 令和 7 年 10 月 17 日 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分 | |
| 開催場所 | 肥田公民館 | |
| 出席議員 | 代表者 大久保 一夫 | 司会者 北谷 峰二 |
| | 報告者 大久保一夫、加藤淳一、西尾隆久 | 記録者 鈴木正義、渡辺豪、安藤勝彦 |
| 参加人数 | 13 人 | |
| 報告内容 | <ul style="list-style-type: none">● 委員会活動について● 地域公共交通について● 議員定数について | |
| 主な意見・ 提言等 | <p>〈委員会活動〉別紙</p> <p>〈地域公共交通〉</p> <ul style="list-style-type: none">・子供や通勤者の意見を聞いてほしい。・下肥田バスの連絡線が無い、バスで行けない。・バス代が高すぎる。回送バスを上手く使えないか。・自動運転バスは遅すぎる。A I デマンドタクシーは良い。・自動運転バスと産業を結び付けられないか。 <p>〈議員定数〉</p> <ul style="list-style-type: none">・数字(他市との比較)を出されても分からない。・財政上問題が無ければ減らす必要がない。・削減、現状維持は議員の気持ちが大切。・削減した分報酬を分配したら良い。・議員の定年制を考えたらどうか。・女性議員がなぜできないのか、もっとよく調べてほしい。・投票率が低いのは何が問題なのか。 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none">・駅前など掲示板に議員の活動報告をしてほしい。興味が湧くのでは。・防犯灯の電気代を市でみてほしい。・駅前のロータリーにバスもタクシーも停まっていない。市民に利便性良く | |

土岐市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

令和 7 年 10 月 24 日

土岐市議会議長 後藤正樹 様

民生常任委員長 大久保 一夫

別 紙

〈委員会活動〉

- ・議員の顔が見えない。
- ・泉と土岐津だけが発展しているように思える。
- ・博物館建設は決定事項なのか。
- ・博物館の維持費はいくらかかるか。職員の人数は。人件費、光熱費はどれくらいか。建設予定地は場所的に人が集まらない。車でしか行けない。
- ・博物館の維持費をもっと下げてほしい。費用対効果で考えたら疑問。36億もかけずに片隅に作ってほしい。市民の意見は聞いているのか。付帯決議とは何か。市長の報告会はよくわからなかった。付帯決議がなければ市政報告会は無かったのか。各市議会議員が地元でしっかり説明と意見を聞くべき。自分たちだけの意見だけで進めていると思う。
建設賛成を決めた議員を選んだのは自分たち、反対なら今度の選挙で議員さんにもうやめてくれと言えばよい。簡単に6億も削減できるなら、もっと下げられるのではないか。
- ・建設が決まっているのなら来場者を増やす工夫をしてほしい。喫茶店やレストランを作るなど
- ・建設賛成者はどれくらいいるのか。
- ・広域ごみ処理施設はどうなっているのか。輸送コストなど土岐・瑞浪が不利にならないようバランスを見てほしい。
- ・箱もの行政は反対だ。
- ・新庁舎の借金はどれくらい残っているのか。
- ・新病院建設費用の土岐市の負担はいくらか。新庁舎の借金に加え、新病院作ると土岐市の借金はいくらになるのか。
- ・この先、人口が減っていくなかで、借金は増えていく。その辺の事はしっかり考えているか。
- ・公共事業の借金は何年返済か。30年後の人口はどうなっているのか。負担が増えるのではないか。
- ・公共事業は反対ではないが、お金をうんでくれない公共事業にお金を使うことは反対。